

ワルシャワとマリウポリ 廃墟の街、闘争の街、希望の街



展示する写真パネルはワルシャワが廃墟から復活したようにウクライナの早期の復興を願って両国の協力で作られました。マリウポリ陥落から既に1年、1日も早く平和が戻り復興が始まることを願って、昨年8月にワルシャワで初公開され10月にはキウウで公開されたものを、日本で初めて一般公開を行います。

【開催日時・会場】

第一会場：2023年6月1日～3日午前11時～午後4時30分（最終日は、午前10時～午後4時）

Someno Kyoto 京都市中京区南車屋町280 キャニオンテラスビル3F

京都 BAL ビルの南側の道（南車屋通）を東に30m

（最寄駅） 阪急電鉄京都線「河原町駅」、市バス「四条河原町」より徒歩5分

第二会場：2023年6月6日～8日午前9時～午後5時

京都信用金庫本店 京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地

（最寄駅） 地下鉄「四条」より徒歩8分 阪急電鉄京都線「河原町駅」より徒歩5分

【プログラム】

- 6月1日-3日 写真パネル展示 ナチス・ドイツによって破壊されたワルシャワとロシアによって破壊されたマリウポリの街の比較した写真パネルを展示します。
- 6月2日午後1時-2時 講演 “ワルシャワ復興の歴史”
藤井和夫 関西学院大学名誉教授・日本ポーランド協会関西センター代表
- 6月3日（午前11時、午後1時、午後3時 各回30分）
ウクライナ絵本の読み聞かせ会 ウクライナ民話「てぶくろ」など
* プログラムの事前申込は不要ですが、入場を制限させて頂く場合があります。
- 6月6日-8日 写真パネル展示 ナチス・ドイツによって破壊されたワルシャワとロシアによって破壊されたマリウポリの街の比較した写真パネルを展示します。

【入場料】 無料

【主催】 Mamo i Tato

【協力】 ポーランド広報文化センター／ 京都信用金庫／Someno Kyoto／日本ポーランド協会
関西センター／SKY 読み聞かせ・朗読ボランティアサークル「こもれび」

【後援】 駐日ウクライナ大使館

【問合せ】 Mamo i Tato（代表 近兼） schi@herb.ocn.ne.jp

